

総合的な探究の時間：世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」についての講義

9月14日(木)に、2年生の総合的な探究の時間に、石見銀山ガイドの会、足立 聖様にお越しいただき、「石見銀山遺跡とその文化的景観」について講義をしていただきました。

どのようにして、石見銀山が世界遺産になったのか、それを守るために大森町の人たちがどのような取り組みをしてきて、今現在は、どのようにして世界遺産を守っているのか、わかりやすくお話していただきました。中でも興味深かったのは、「マスク」の原点となったのは、石見銀山で働いていた人たちが作業の時に使っていたものであるということが記された古門書「済生卑言」を遼摩高校生が発見したということも教えていただきました。

遼摩高校は、世界遺産のすぐ近くにある学校、マスクの存在を発見したのは遼摩高校の卒業生、石見銀山保全に取り組む学校です。足立様は、「これからは、遼摩高校生に『石見銀山ガイド』をやって欲しい」とおっしゃっていました。

